

地域で共に生きる

ストレス社会と言われる現代社会。

こころの病は、誰もがなるかもしれない身近な病気です。

一方で、外見からは分かりにくいので、周囲から理解されにくい面があります。

みんながこころの病を正しく理解し、生活や社会活動の中でサポートすることで、社会参加の機会は広がります。

障害の有無に関わらず、すべての人が共に暮らしていく社会を実現していきましょう。



わかば共同作業所の利用者
小林智さん

以前は製造業を転々としていましたが、こころの病になり退職。その後、わかば共同作業所^{*}を紹介され、3年ほど通っています。

作業所の1日は、9:15の朝礼から始まり、昼休憩と2回の小休憩を挟んで、16:00の終礼で終わります。作業としては、主に段ボールの仕切りの組み立てや、防災グッズの袋詰めなどをしています。

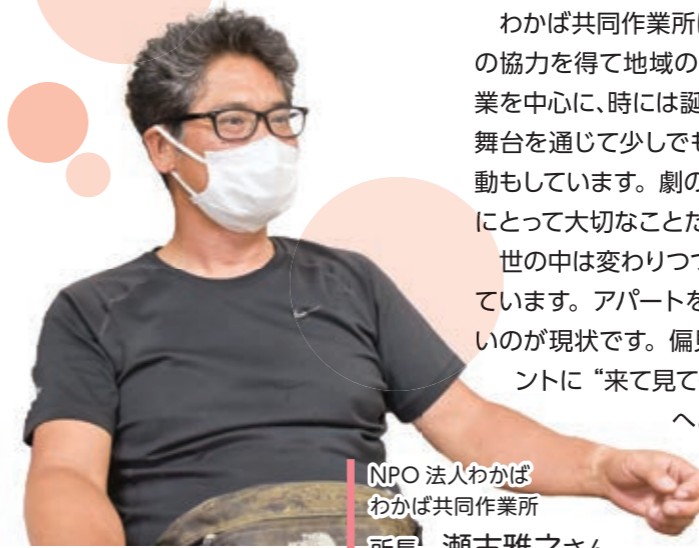
前は友達をつくるのが苦手で孤立しがちでしたが、作業所に来てみんなとしゃべれるようになりました。今はコロナ禍で中止していますが、作業所のメンバーで演じる芝居に出られたことがうれしかったですね。これから芝居をやりたいですし、新しい仕事も積極的にやっていきたいです。

病院で作業所を紹介してもらい、13年ほど通っています。平日は作業所で段ボールの組み立てをして、休日は料理や洗濯など家事を手伝っています。

コロナ禍になる前は、作業所の年1回のバス旅行で伊勢神宮や愛知県小牧市の博物館に行ったり、他の福祉施設とソフトボール大会をしりました。作業所の人たちはみんな優しく、作業所に来るのが一番楽しいので、ずっと通所を続けていきたいです。

※市内にある就労継続支援B型事業所（通常の事業所に雇用されることが困難であり、雇用契約に基づく就労が困難である人を対象とした、生産活動や就労に必要な訓練をする施設）の一つ

わかば共同作業所の利用者
近藤元明さん



NPO法人わかば
わかば共同作業所
所長 瀬古雅之さん

わかば共同作業所は昭和59年に当事者家族が立ち上げ、地域の皆さんやボランティアの協力を得て地域の中で運営されてきました。現在は主に段ボールの組み立てなどの作業を中心に、時には誕生会などのレクリエーションも取り入れながら活動しています。また、舞台を通じて少しでも理解を深めてもらえるよう、オリジナル演劇の上演といった対外活動もしています。劇の中で「役」をもつこと、「役割」があることも作業所利用者の方にとって大切なことだと感じています。

世の中は変わりつつありますが、精神障害者に対する偏見や誤解はまだ根強く残っています。アパートを借りたり就職したりするのも難航し、生活基盤を築くこと自体難しいのが現状です。偏見をなくしていくには実際に接するのが一番早いので、作業所やイベントに「来て見て知って」もらえれば、「訳が分からない、怖い」から「とても普通の人」へとイメージが一変すると思います。ただ、社会生活ではそこに落とし穴もあり、「できるはずなのに怠けている」と誤解されることもあります。なので、病気の特徴を知り、もう一歩深く理解してもらえるようになるとうれしいです。



▲組み立てた段ボールは企業へ納品



▲自主製品は福祉の店やバザーなどで販売



▲練習を重ねてきた演劇をイベントで披露

家族会は、精神障害者の家族なら誰でも参加できる団体です。①家族同士で支え合う ②正しい知識を身に付ける ③福祉が遅れている部分を要望していくという3本の柱で活動しています。同じ立場だからこそ悩みを打ち明けられるので、思いを話せる場づくりというのが一番大事だと思っています。

かつて統合失調症は「精神分裂病」と呼ばれ、未だに「何をするか分からない」と誤解や偏見を持たれています。そのため、本人や家族は病名を伏せざるを得ないのが現状です。実際に接してみれば見方がガラッと変わり、他の人と変わらないと分かるので、ぜひ作業所で働く姿を見てほしいですね。

NPO法人三重県精神保健福祉会
(精神障害者家族会連合会) 理事長・
地域家族会「ほうれん草の会」代表
山本武之さん



「こころの病気」は身近な病気です。さまざまな症状があります(一例)

統合失調症



うつ病



依存症



摂食障害



パニック障害・不安障害



など

相談窓口	連絡先	相談内容
障害福祉課	☎ 354-8527 / FAX354-3016 ✉ syougai-fukushi@city.yokkaichi.mie.jp	福祉サービス
保健予防課	☎ 352-0596 / FAX351-3304 ✉ hokenyobou@city.yokkaichi.mie.jp	病気の理解や受診、社会復帰など
障害者相談支援センター HANA	☎ 320-2761 / FAX322-2474	困り事、悩み事など生活全般
障害者相談支援センター ソシオ	☎ 345-9016 / FAX346-4643	困り事、悩み事など生活全般
四日市市障害者就業・生活支援センター プラウ	☎ 354-2550 / FAX354-8227 ✉ y-sigoto@cty-net.com	働くことを中心にした自立生活

●この記事についてのお問い合わせ・ご意見は 障害福祉課 ☎354-8171 FAX354-3016